

令和5年度版

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

北群馬渋川地域



県道南新井前橋線（2期工区）バイパス整備



国道353号（村上工区）落石対策



県道分郷八崎寄居線（真壁工区）歩道整備



千石沢3 土石流対策



ていぼう
堤防

どんな効果
があるの？



はし
橋

事業の進み
具合は？

何のために事業
しているの？



どうろ
道路

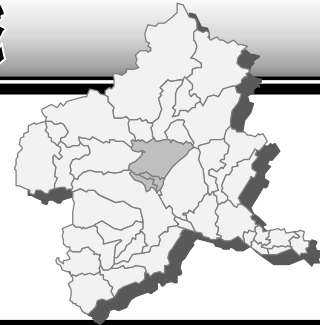
どんな事業？



さぼう
砂防えんてい

北群馬渋川地域

北群馬渋川地域は県の中央、関東平野の北端に位置し、伊香保温泉に代表される観光産業のほか、赤城山麓・榛名山麓に囲まれた農地では、標高差を活かした中山間地農業が行われ、観光農園でのフルーツ狩りも盛んです。また、首都圏方面から草津や嬭恋など県北西部への玄関口に当たる交通の要衝となっています。



地域の優れた特性

- 県内屈指の歴史と集客力を誇る伊香保温泉などの多彩な観光資源を有しています。
- 関越自動車道渋川伊香保インターチェンジは伊香保温泉のみならず、草津、四万、万座など県北西部観光地への玄関口となっています。
- 国道17号前橋渋川バイパスや県道高崎渋川線バイパス、国道17号上武道路等の整備により、県内各方面からのアクセスも格段に向上してきています。

地域の現状と課題

- 令和元年東日本台風など、近年、頻発する気象災害を踏まえ、水害・土砂災害リスクを軽減するための取組が求められています。
- 山間地の多さから豪雨時や地震時等でも道路の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 伊香保温泉などの地域の観光振興を支援するための取組が求められています。
- 交通ネットワークの拠点としての優位性を高め、広域的な地域間連携の強化を図るための取組が求められています。
- 高速道路へのアクセス性の向上による、新たな企業誘致の促進や観光振興、周辺地域の連携強化を図るための取組が求められています。
- 歩道が未整備の通学路が多く、交通人身事故発生件数も多い地域のため、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が必要です。



県民の声

- 令和元年東日本台風など異常気象による水害が頻発しており、利根川やその支川の水害対策を実施してほしい。
- 過去に被害があった箇所の土砂災害対策を実施してほしい。
- 交通量が多いが、歩道が整備されていない箇所等における子どもの通学の安全性に不安がある。
- 駒寄スマートIC*の大型車利用が可能になるので、渋川、榛東、吉岡の連携を踏まえた一層の観光振興が必要である。
- 伊香保温泉などの地域の観光資源の活用につながるアクセス道路等の整備を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 近年、頻発する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川利根川の改修等を推進します。
- ② 過去に被害があった箇所を中心に土砂災害リスクを軽減するため、千石沢3の土石流対策等を推進します。
- ③ 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道353号の落石対策や県道南新井前橋線のバイパス整備等を推進します。
- ④ 近年、頻発する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川吾妻川圏域の改修について検討します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 地域の観光振興を支援するため、県道渋川下新田線の線形改良等を推進します。
- ② 広域的な地域間連携の強化を図るため、県道高崎渋川線バイパス4車線化の整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道高崎安中渋川線や県道分郷八崎寄居線の歩道整備等を推進します。

～掲載事業一覧～

北群馬渋川地域

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	土石流対策	渋川市行幸田	尻谷沢	1
2		渋川市赤城町津久田	千石沢3	2
3		渋川市金井	下町の沢	3
4		渋川市入沢	袋沢-2	4
5	落石対策	渋川市村上	国道353号(村上工区)	5
6	バイパス整備	吉岡町陣場 ～前橋市池端町	県道南新井前橋線(2期工区)	6
7		榛東村新井 ～吉岡町陣場	県道南新井前橋線(3期工区)	7
8		榛東村新井	県道南新井前橋線(4期工区)	8
9		渋川市赤城町滝沢	県道津久田停車場前橋線(滝沢工区)	9
10	線形改良	渋川市小野子	県道渋川下新田線(小野子工区)	10
11	バイパス整備	榛東村新井 ～吉岡町小倉	県道高崎渋川線(2期工区)	11
12	歩道整備	渋川市伊香保町伊香保	県道渋川松井田線(伊香保工区)	12
13		吉岡町大久保	県道前橋伊香保線(大久保工区)	13
14		渋川市北橋町真壁	県道分郷八崎寄居線(真壁工区)	14
15		渋川市八木原	県道高崎安中渋川線(八木原工区)	15
16	交差点改良	渋川市伊香保町伊香保	県道前橋伊香保線(伊香保交差点)	16
17	歩道整備	渋川市石原	(都) 渋川高崎線(街中工区)	17
18		渋川市北牧	国道353号(北牧工区)	18
19		吉岡町上野田	県道前橋伊香保線(上野田工区)	19

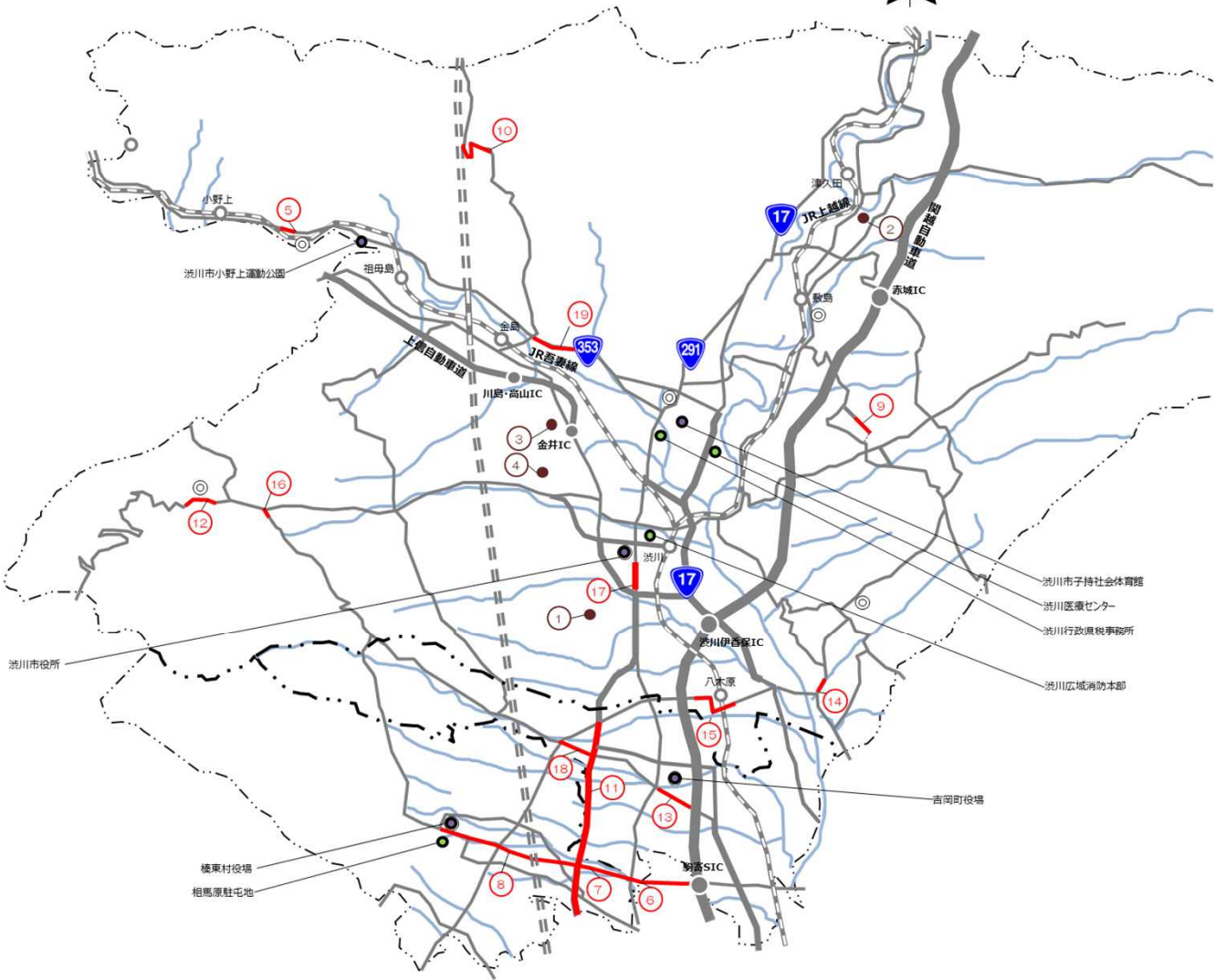
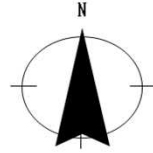
凡 例

【事業分野区分】

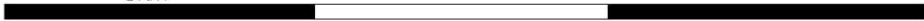
- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水・住宅・公共交通等）

【その他】

- 主要な防災拠点（1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



5km



事業概要

- 所在地：渋川市行幸田
- 溪流名：利根川支川 尻谷沢
- 事業内容：砂防堰堤 1基
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和元年度～令和6年度（6年間）
- 保全対象：人家92戸

事業位置



どのような課題を解決するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元の
の声

近年の集中豪雨により土石流に対して、不安を抱いている。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される人家	0戸	92戸

実施前

- ◆ 溪流が荒れた状況にあり、土石流が発生するおそれがあります。



荒廃状況



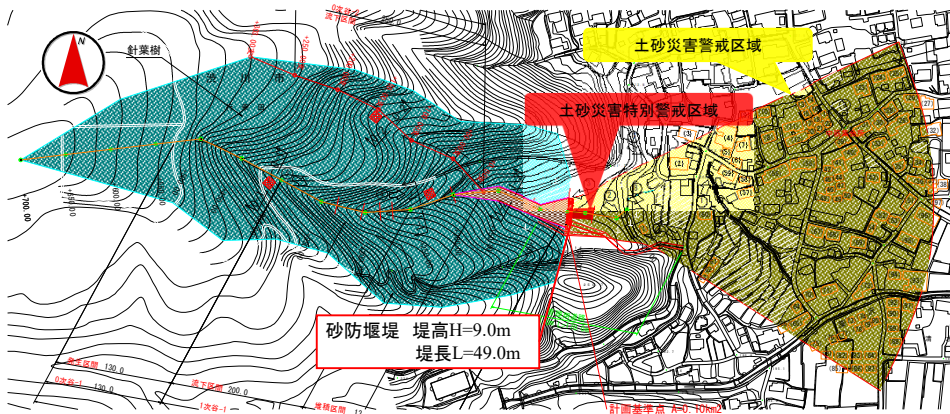
実施後

- ◆ 砂防堰堤を整備することで、大雨などによる土石流の被害リスクを軽減します。



完成後のイメージ写真

事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、砂防堰堤の基礎地盤の改良工事を進めています。



地盤改良箇所

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：茨城県赤城町津久田
- 河川名：利根川支川 千石沢3
- 事業内容：砂防堰堤 1基
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和元年度～令和4年度（4年間）
- 保全対象：人家10戸、避難所1箇所

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくりました

地元の声

近年の集中豪雨により不安を感じたため、早急な対策を要望する。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
保全される避難所	0箇所	1箇所
保全される人家	0戸	10戸

実施前

◆溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがありました。



荒廃状況

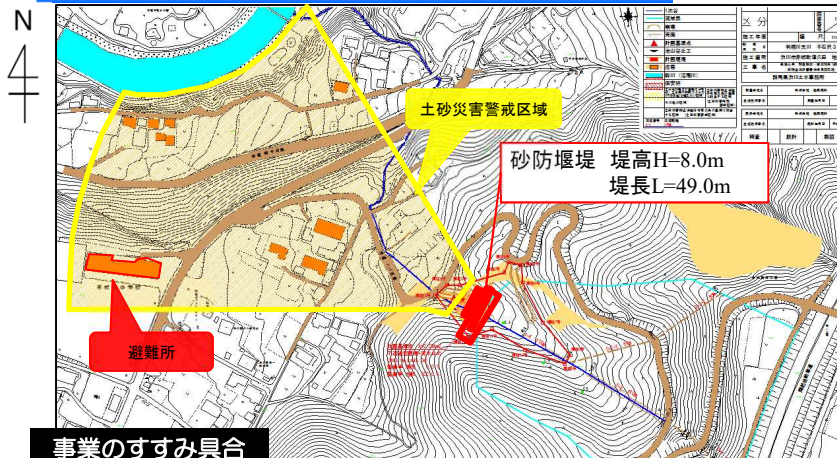
実施後

◆砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減しました。



完成後

事業の進捗状況（R4年度完了）



事業のすすみ具合

今、何をしているか

令和4年度に砂防堰堤の工事が完了し、事業完了となりました。



事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：茨川市金井
- 溪流名：利根川支川 下町の沢
- 事業内容：砂防堰堤 1基
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和元年度～令和6年度（6年間）
- 保全対象：要配慮者利用施設1施設、人家6戸

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元の
の声

近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される要配慮者利用施設	0施設	1施設
保全される人家	0戸	6戸

実施前

◆溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

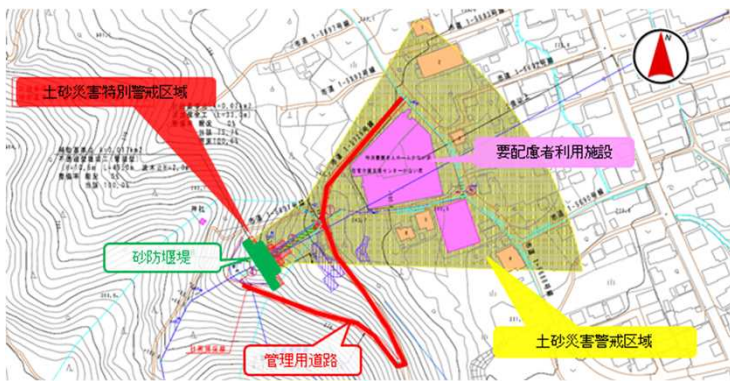


実施後

◆砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、管理用道路の工事を行います。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了

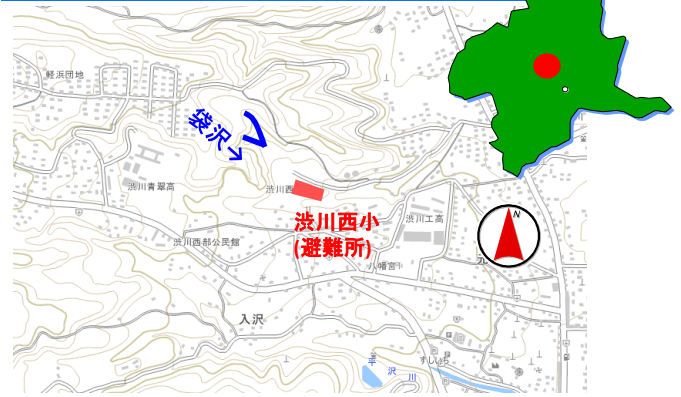
袋沢-2 土石流対策事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現 施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：渋川市入沢
- 溪流名：利根川支川 袋沢
- 事業内容：砂防堰堤 2基
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和2年度～令和6年度（5年間）
- 保全対象：避難所2箇所
 人家1戸

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元の
の声

近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される避難所	0箇所	2箇所
保全される人家	0戸	1戸

実施前

◆溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

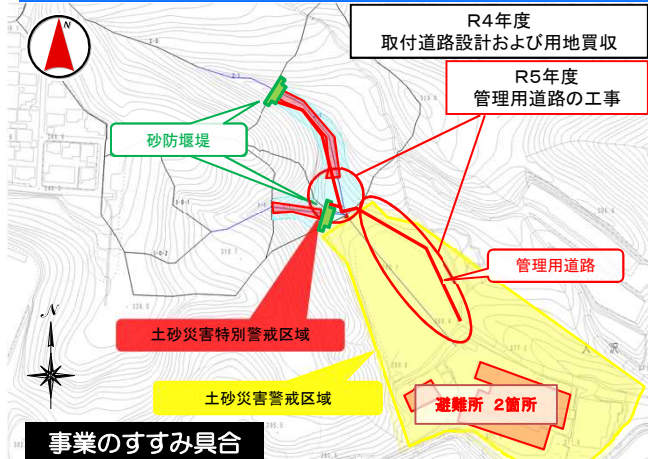


実施後

◆砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度は、管理用道路の工事をを行います。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了

事業概要

- 所在地：渋川市村上
- 路線名：国道353号
- 事業内容：落石対策(道路改良) 延長 550m
- 全体事業費：約18億円
- 事業期間：平成15年度～令和4年度(20年間)
- 現在の交通量(H27)：11,157台/日(自動車)
：5人/12時間(歩行者)
：4台/12時間(自転車)
- 緊急輸送道路指定：1次

国道353号を、法面(崖)から離すため、道路を吾妻川側に張り出して、さらに法面側には擁壁を設置します。このため、吾妻川の右岸(対岸)の護岸を引く工事を、平成20年度から平成28年度にかけて実施しました。

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路をがけから離しました

地元の声

- ・何度もガケ崩れがあり大変危険な場所です。(道路利用者)
- ・渋川と吾妻を結ぶ重要な道路なので通行止めがっては困ります。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後
法面崩壊による国道への崩落 【大規模崩落による全面通行止め】	3件/50年間	0件
斜面の危険箇所数	4箇所	0箇所
急カーブの改善	1箇所	0箇所

実施前

◆大規模崩落や落石などにより、道路が寸断される恐れがありました。



整備前

実施後

◆川側に道路を移設し、崖側には擁壁を設置して、安全な通行区間を確保しました。

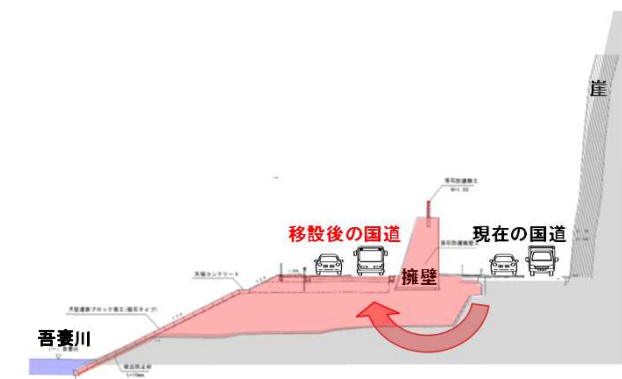
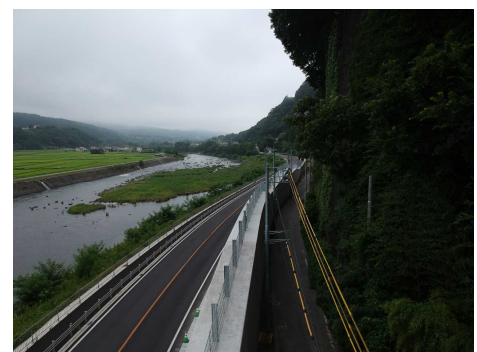


整備後

事業の進捗状況(R4年度完了)

今、何をしているか

令和4年度に法面工、舗装工を実施して、対策工事が完了し、安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地: 吉岡町陣場 ~ 前橋市池端町
- 路線名: 一般県道 南新井前橋線
- 事業内容: バイパス整備 延長1.1km 幅15.5m
- 全体事業費: 約16億円
- 事業期間: 平成24年度~令和3年度(10年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 開通前交通量(H27): 10,911台/日(現道_自動車)
: 162人/12時間(現道_歩行者)
: 980台/12時間(現道_自転車)
- 実績交通量(R3): 7,887台/12時間(現道_自動車)
: 5,227台/12時間(バイパス_自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりました



- ・県や市町村の連携を強化することで、災害から早期に復旧できるようにしてほしい。(地域住民)
- ・防災拠点から被災地へ、迅速かつ円滑に移動できるようにしてほしい。(地元住民)
- ・駒寄スマートICが大型車対応になれば、渋川伊香保ICではなく駒寄スマートICを利用する。(道路利用者)

成果を示す項目	実施前	実施後
移動時間 (小倉工業団地~駒寄スマートIC)	約16分	約10分(6分短縮)
清野町交差点の渋滞長	150m	0m(150m短縮)

実施前

◆朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に、交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしていました。



実施後

◆バイパス整備により、交通渋滞を回避し、災害時にも機能する安全な通行空間を確保しました。



事業の進捗状況(R3年度完了)



今、何をしているか

令和3年度に2期工区が完成し、3期工区の開通とあわせて、高崎渋川線バイパス、駒寄スマートIC、上武道路がつながりました。



事業のすすみ具合

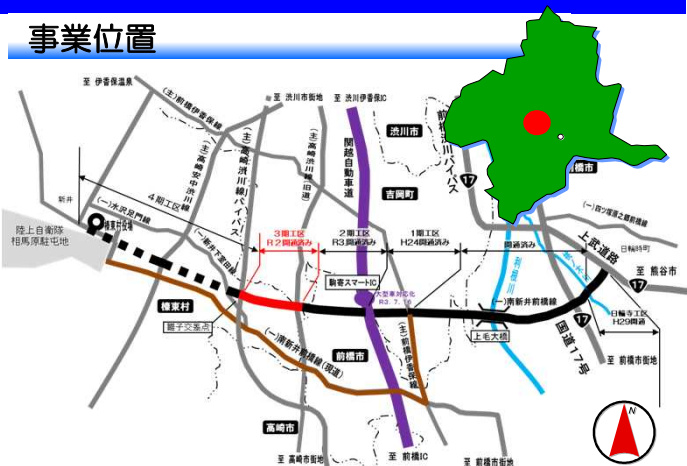
事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地: 榛東村新井 ~ 吉岡町陣場
- 路線名: 一般県道 南新井前橋線
- 事業内容: バイパス整備 延長 0.9km 幅 15.5m
- 全体事業費: 約14億円
- 事業期間: 平成27年度~令和2年度(6年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 開通前交通量(H27): 6,162台/日(現道_自動車)
: 16人/12時間(現道_歩行者)
: 136台/12時間(現道_自転車)
- 実績交通量(R3): 7,887台/12時間(現道_自動車)
: 5,227台/12時間(バイパス_自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりました



- ・県や市町村の連携を強化することで、災害から早期に復旧できるようにしてほしい。(地域住民)
- ・防災拠点から被災地へ、迅速かつ円滑に移動できるようにしてほしい。(地元住民)
- ・駒寄スマートICが大型車対応になれば、渋川伊香保ICではなく駒寄スマートICを利用する。(道路利用者)

成果を示す項目	実施前	実施後
移動時間 (小倉工業団地~駒寄スマートIC)	約16分	約10分(6分短縮)
清野町交差点の渋滞長	150m	0m(150m短縮)

実施前

◆朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に、交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしていました。

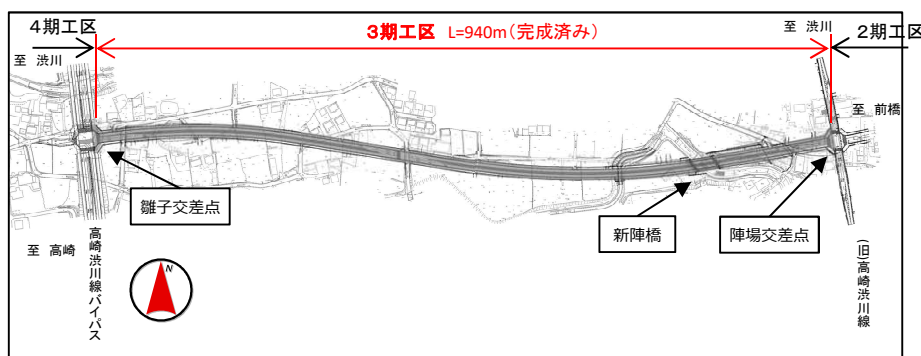


実施後

◆バイパス整備により、交通渋滞を回避し、災害時にも機能する安全な通行空間を確保しました。



事業の進捗状況(R2年度完了)



今、何をしているか

令和2年度に3期工区の整備が完了しました。令和3年度の2期工区完成とあわせ、高崎渋川線バイパス、駒寄スマートIC、上武道路がつながりました。



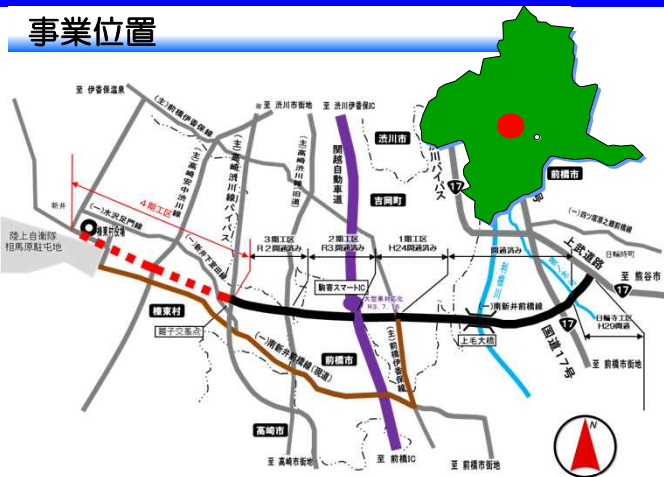
事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地: 榛東村新井
- 路線名: 一般県道 南新井前橋線
- 事業内容: バイパス整備 延長 2.6km 幅 12.5m
- 全体事業費: 約32億円
- 事業期間: 平成29年度~令和8年度(10年間)
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 現在の交通量(H27): 6,162台/日(現道_自動車)
: 16人/12時間(現道_歩行者)
: 136台/12時間(現道_自転車)
- 計画交通量(R12): 4,900台/日(現道_自動車)
: 8,900台/日(バイパス_自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・駒寄スマートICへのアクセス向上が期待される。(地元住民)
- ・歩行者・自転車の安全性向上に期待する。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
移動時間(相馬原駐屯地~駒寄SIC)	約16分	約7分(9分短縮)
清野町交差点の渋滞長	150m	0m(150m短縮)

実施前

◆朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に、交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしています。

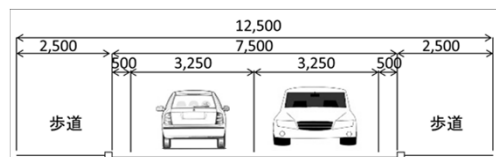


現道の渋滞状況(南新井前橋線)

実施後

◆バイパスが整備され、一般車をはじめ自衛隊車両等も駒寄スマートICへのスムーズな走行が可能になります。また、両側に歩道が設置され、安全な通行空間が確保されます。

横断図



事業後のイメージ

事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

用地の取得が完了した箇所から順次道路改良工事を進めています。

令和5年度は継続して用地取得を進めるとともに、道路改良工事・橋台工事を実施します。



現地状況

事業のすずみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地：茨川市赤城町滝沢
- 路線名：一般県道 津久田停車場前橋線
- 事業内容：バイパス整備 延長 0.4 km、幅 9.3m
- 全体事業費：約3億円
- 事業期間：平成26年度～令和3年度（8年間）
- 現在の交通量（H27）：1,586台/日（現道_自動車）
0人/12時間（現道_歩行者）
0台/12時間（現道_自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・地域の観光振興を支援するため

バイパス道路をつくりました



- ・「道の駅こもち」へ向かう道路を円滑に通行できるようにしてほしいです。（地元住民）
- ・道路が狭く、車同士すれ違うのに苦労しています。（地元住民）
- ・小学校の通学路があり、見通しが悪く狭いので、児童が事故に遭わないか心配です。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
周辺観光施設の観光客数	56万人（R1年度）	56万人（維持）
車両同士のすれ違い	すれ違い困難（幅員4.0m）	すれ違いが容易に（幅員9.3m）

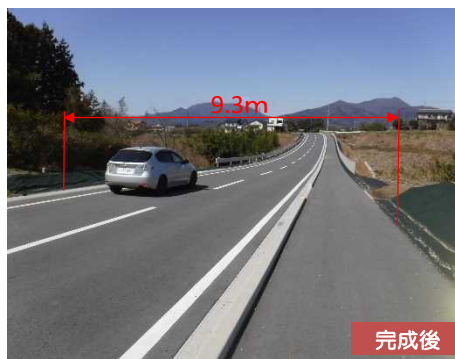
実施前

- ◆現道は幅員が狭くカーブが多いうえ、歩道がないため、危険な状況でした。

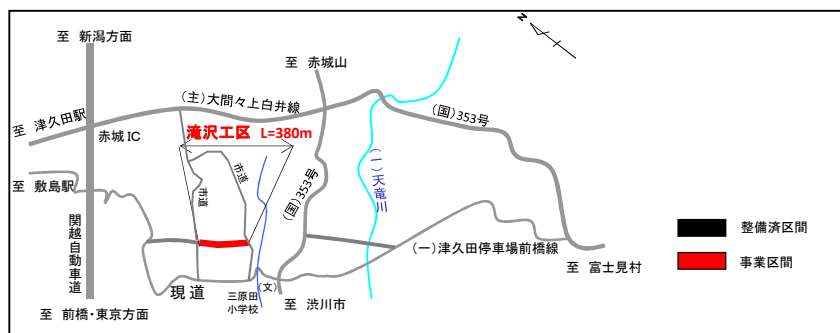


実施後

- ◆安全で快適に通行可能な幅員の道路が新たに整備されました。



事業の進捗状況（R3年度完了）



今、何をしているか

令和3年度で滝沢工区が完成しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地: 渋川市小野子
- 路線名: 主要地方道 渋川下新田線
- 事業内容: 線形改良 延長 1.1 km、幅 7.5 m
- 全体事業費: 約4億円
- 事業期間: 平成25年度～令和9年度(15年間)
- 現在の交通量(H27): 3,527台/日(自動車)
29人/12時間(歩行者)
0台/12時間(自転車)
- 計画交通量(R12): 4,900台/日(自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・地域の観光振興を支援するため

急カーブを
ゆるくします

地元
の
声

- ・「道の駅中山盆地」へ行く際に利用するので、円滑に通行できるようにしてほしいです。(地元住民)
- ・急カーブが連続しているため、交通事故が発生しそうで怖いです。(道路利用者)
- ・日当たりが悪く冬場は路面が凍結するため、改善されることを期待します。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
周辺観光施設の観光客数	12万人(R1年度)	12万人(維持)
急カーブ数	2箇所	0箇所

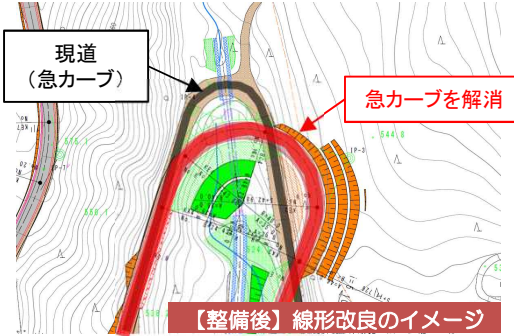
実施前

- ◆急カーブが連続し、冬場には路面が凍結するため、危険な状況です。

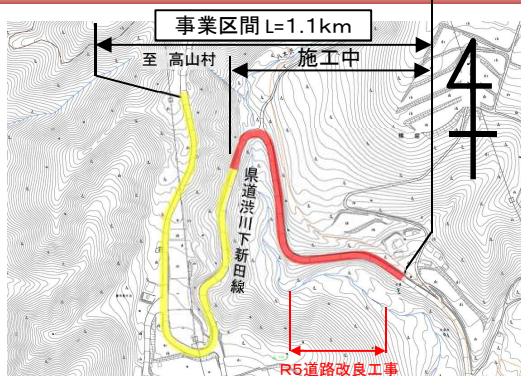


実施後

- ◆急カーブと凍結箇所が改善され、安全に走行できるようになります。



事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は、引き続き道路改良工事等を実施します。



事業のすすみ具合



県道高崎渋川線（2期工区） 4車線化事業

政策3 多様な移動手段の確保

施策2：自動車交通網の整備

事業概要

- 所在地：榛東村新井 ～ 吉岡町小倉
- 路線名：主要地方道 高崎渋川線
- 事業内容：バイパス整備（4車線化）延長3.6km 幅25.0m
- 全体事業費：約4億円
- 事業期間：平成30年度～令和2年度（3年間）
- 開通前交通量（H30）：12,844台/12時間（現道_自動車）
- 計画交通量（R12）：14,600～
：20,700台/日（バイパス_自動車）
：9,400台/日（現道_自動車）
- 実績交通量（R3）：12,898台/12時間（バイパス_自動車）
：7,631台/12時間（現道_自動車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・広域的な地域間連携を強化するため

**4車線道路に
しました**



- ・現道は朝夕の渋滞が激しく、通勤に時間がかかるので困ります。（道路利用者）
- ・バイパスを早く4車線化して、スムーズに走れるようにしてほしい。（地域住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
移動時間（高崎市～渋川市）	約45分	約41分（4分短縮）
上宿交差点の渋滞長	60m	0m（60m短縮）

実施前

- ◆現道は朝夕の渋滞が激しく、道幅も狭いため、円滑な通行に支障がありました。



現在の状況

実施後

- ◆4車線化により交通容量が増えることで、渋滞が無い地域間の円滑な通行を確保しました。



完成後

事業の進捗状況（R2年度完了）



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

今、何をしているか

令和2年度に全線4車線化が完了し、複数市を結ぶ広域的な地域間連携が強化されました。



4車線化

事業概要

- 所在地: 渋川市伊香保町伊香保
- 路線名: 主要地方道 渋川松井田線
- 事業内容: 歩道整備事業
 - 全体延長 430m
 - 道路幅 12.0m
 - 歩道幅 2.50m
- 全体事業費: 約4億円
- 事業期間: 平成25年度~令和3年度(9年間)
- 現在の交通量: (H27)11,034台/日(自動車)
29人/日(歩行者)
3台/日(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を
整備しました

地元
の声

- ・観光客が街歩きを楽しめるように、歩道を広くしてほしい。(旅館関係者)
- ・歩道がない箇所があり、すぐ横を車が通るので危ない。(路線バス運転手)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
交通事故件数	2.8件/年(H20~H24平均)	0件

実施前

- ◆観光地内の幹線道路でありながら歩道が狭く、歩行者が路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。



歩道整備前

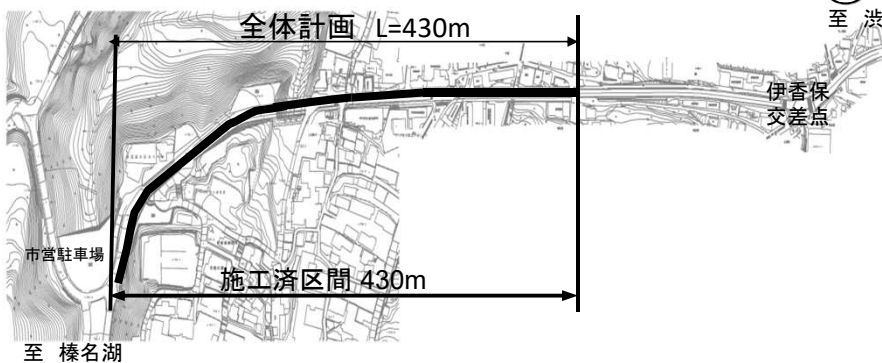
実施後

- ◆歩道を広げ、観光客をはじめとする歩行者の安全な通行空間を確保しました。



完成後

事業の進捗状況(R3年度完了)



至 渋川市街

今、何をしているか

令和3年度は歩道拡幅と交差点改良工事を実施し、事業が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

県道前橋伊香保線(大久保工区) 歩道整備事業

政策3 多様な移動手段の確保

施策3: 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備

事業概要

- 所在地: 吉岡町大久保
- 路線名: 主要地方道 前橋伊香保線
- 事業内容: 歩道整備事業
 - 全体延長 500m
 - 道路幅 9.25m
 - 歩道幅 2.50m
- 全体事業費: 約2億円
- 事業期間: 平成29年度~令和6年度(8年間)
- 現在の交通量(H27): 18,162台/日(自動車)
 - : 63人/日(歩行者)
 - : 235台/日(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します



- ・歩道がないので、登下校時に何度も怖い思いをした。(地元中学生)
- ・児童・生徒が歩くすぐ横を車が走るので、事故が起きないか心配です。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
交通事故件数	0.6件/年 (H23~H27平均)	0件

実施前

◆歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



歩道無し

実施後

◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保します。

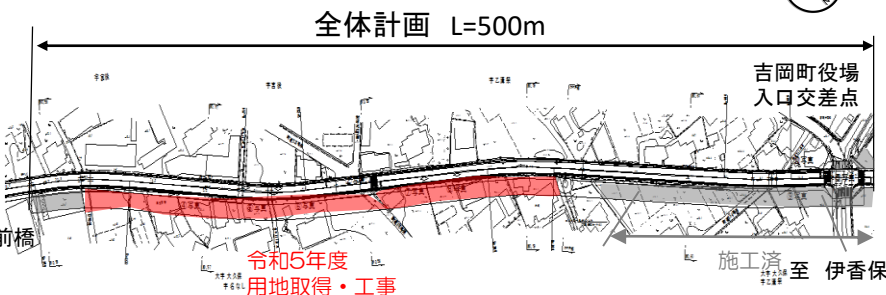


歩道設置後(完成区間)

事業の進捗状況 (R5年3月現在)

今、何をしているか

令和5年度は、用地取得および工事を行います。



令和4年度実施箇所

事業のすすみ具合

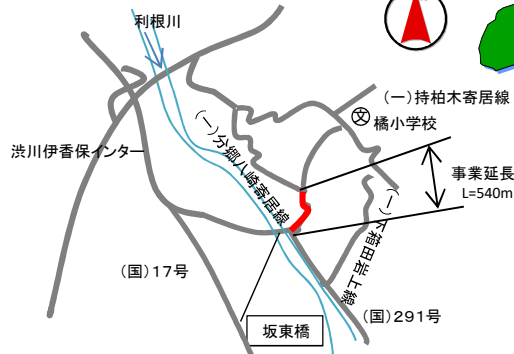
事業開始 ●

● 事業完了

事業概要

- 所在地：渋川市北橋町真壁
- 路線名：一般県道 分郷八崎寄居線
- 事業内容：歩道整備事業
 - 全体延長 540m
 - 道路幅 9.25m
 - 歩道幅 2.50m
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：平成26年度～令和5年度（10年間）
- 現在の交通量：6,595台/日（自動車）
 - ： 90人/日（歩行者）
 - ： 20台/日（自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を
整備します

地元
の声

- ・坂道でスピードを出す車も多いため、登下校がとても不安です。（地元小学生）
- ・路肩を歩いている子供達を見るたび、車に接触しないかハラハラします。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
交通事故件数	2.4件/年（H20～H24平均）	0件

実施前

◆歩道が狭く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故の恐れがあります。

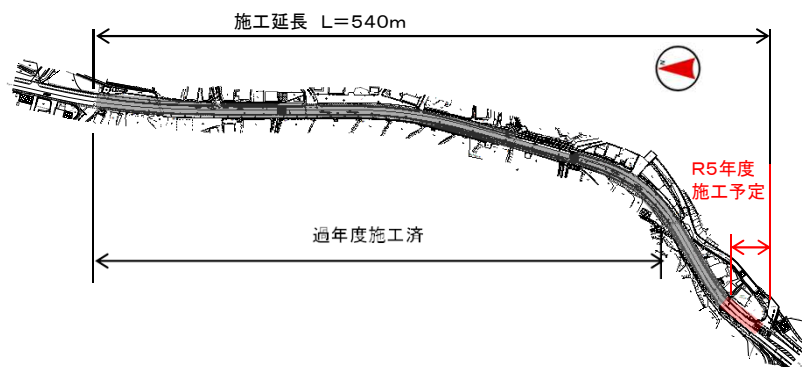


実施後

◆車道と歩道が分離されることで、通学する児童の安全な通行空間を確保します。



事業の進捗状況（R5年3月現在）



今、何をしているか

令和5年度も引き続き工事を実施し、事業が完了する予定です。



事業のすすみ具合

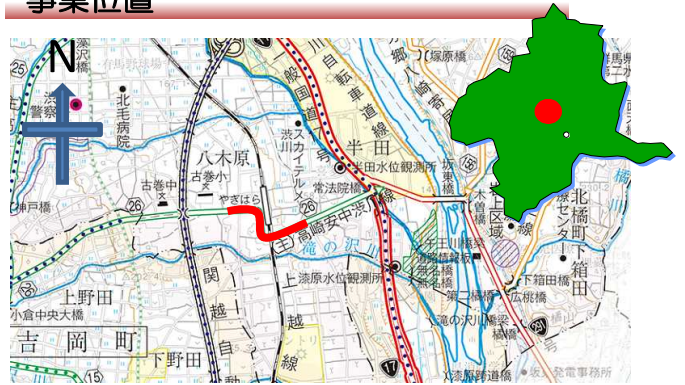
至坂東橋

事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地：渋川市八木原
- 路線名：主要地方道 高崎安中渋川線
- 事業内容：歩道整備事業
 - 全体延長 750m
 - 道路幅 6.50m
 - 歩道幅 2.50m
- 全体事業費：約8億円
- 事業期間：令和元年度～令和11年度(11年間)
- 現在の交通量：5,889台/日(自動車)
 - :42人/日(歩行者)
 - :27台/日(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がないので、登下校時に何度も怖い思いをした。(地元小学生)
- ・小中学校の通学路になっているので、児童の安全確保がされているか心配。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
交通事故件数	2.3件/年(H23~H27平均)	0件

実施前

- ◆歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。

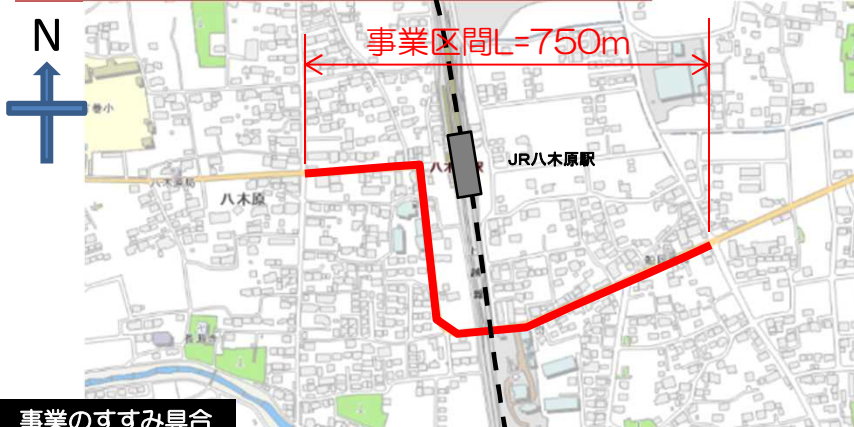


実施後

- ◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保します。



事業の進捗状況(R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は引き続き、用地買収を行います。



事業開始 ● ● 事業完了

事業概要

- 所在地：渋川市伊香保町伊香保
- 路線名：主要地方道 前橋伊香保線
- 事業内容：交差点改良事業
 - 全体延長 300m
 - 道路幅 9.50m
 - 歩道幅 2.50m
- 全体事業費：約3億円
- 事業期間：平成29年度～令和4年度（6年間）
- 現在の交通量：3,539台/日（自動車）
 - ： 3人/日（歩行者）
 - ： 3台/日（自転車）

事業位置



どのような課題を解決するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道の整備と
道路の線形を直しました

地元の
の声

- ・交差点が鋭角で1回で曲がりきれないこともあるので困っています。（道路利用者）
- ・近くの観光地へ歩くのに、歩道がなく危険を感じます。（観光客）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
交通事故件数	1.0件/年（H23～H27平均）	0件

実施前

- ◆交差点内の見通しが悪く、歩道が無いため、交通事故の恐れがありました。



交差点改良前

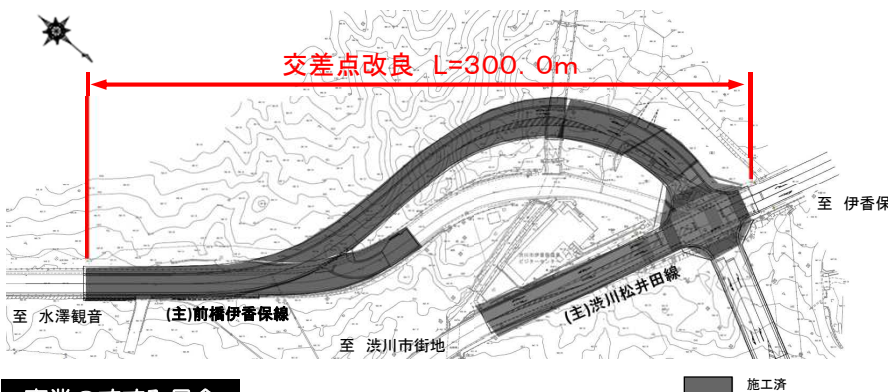
実施後

- ◆交差点の見通しが良くなるとともに、歩道が整備されることで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



交差点改良後

事業の進捗状況（R4年度完了）

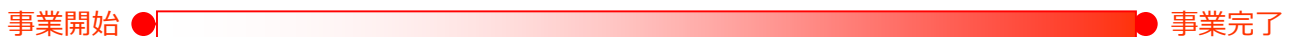


今、何をしているか

令和4年度は道路改良工事を行い、事業を完了しました。



事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地：渋川市石原
- 路線名：都市計画道路 渋川高崎線
- 事業内容：歩道整備 延長 660m 幅員 16~18m (2車線)
- 全体事業費：約18億円
- 事業期間：令和3年度~令和11年度 (9年間)
- 現在の交通量：14,433台/日 (自動車)
140人/日 (歩行者)
158台/日 (自転車)
- 計画交通量：12,300台/日 (自動車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- 歩行者や自転車の安全な通行を確保するために 歩道と自転車通行帯を整備します

**地元
の
声**

- ・小学校の通学路となっているため、登下校する児童の安全を確保してほしい。(地元住民)
- ・道が狭く自転車と車との接触が心配なので、自転車と車の通行を分けてほしい。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後 (目標)
交通事故件数	3件/年 (事業前5年間平均)	0件
石原交差点南側の渋滞長	L = 100m	0m

実施前

◆歩道がないため、歩行者・自転車と自動車が悪絡し、交通事故の危険があるほか、交通の流れが悪くなっています。

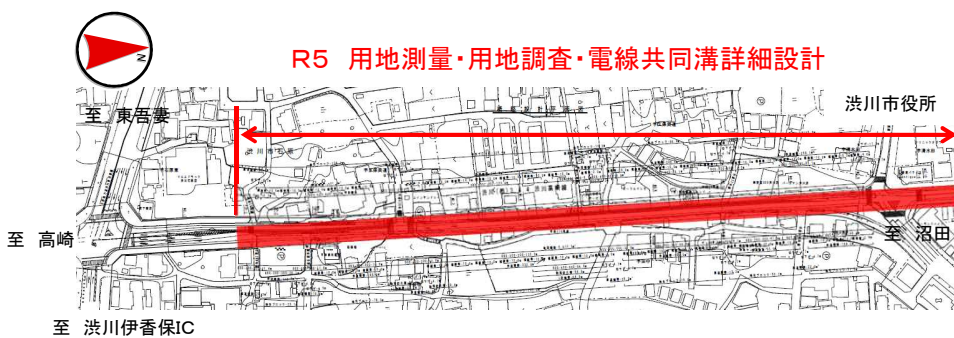
歩行者と自転車の通行状況

実施後

◆車道と歩道の分離と自転車通行帯の整備により、歩行者と自転車の安全な通行空間を確保するとともに、交通の円滑化を図ります。

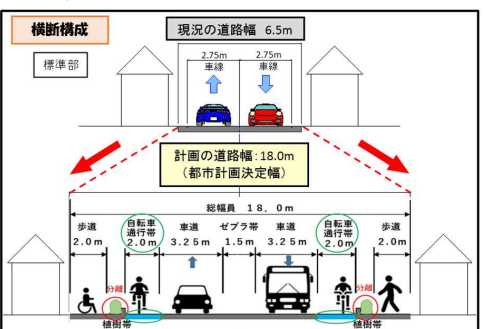
歩行者と自転車の通行イメージ

事業の進捗状況 (R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は用地測量・用地調査と、無電柱化工事に向けた詳細設計を実施します。



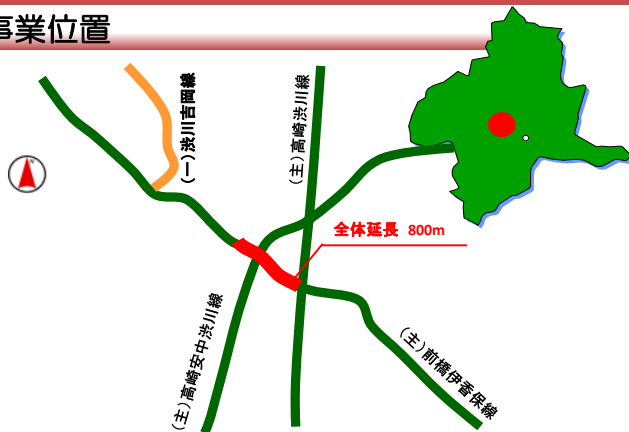
事業のすすみ具合



事業概要

- 所在地: 北群馬郡吉岡町上野田
- 路線名: 主要地方道前橋伊香保線
- 事業内容: 歩道整備事業
 - 全体延長 800m
 - 道路幅 12.0m
 - 歩道幅 2.50m
- 全体事業費: 約5億円
- 事業期間: 令和5年度~令和13年度(10年間)
- 現在の交通量: (H27) 11,058台/日(自動車)
23人/日(歩行者)
26台/日(自転車)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します



- ・歩道が狭いため、歩道を広くしてほしい。(学校関係者)
- ・歩道がない箇所があり、すぐ横を車が通るので危ない。(地域住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
交通事故件数	1.8件/年(事業前5年間平均)	0件

実施前

◆歩道が狭く、歩行者が路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



実施後(案)

◆歩道を広げ、歩行者の安全な通行空間を確保します。



事業の進捗状況 (R5年3月現在)



今、何をしているか

令和5年度は測量調査等を実施し、歩道計画を作成します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●.....● 事業完了

事業概要

- 所在地：渋川市北牧
- 路線名：国道353号
- 事業内容：歩道整備事業
 - 全体延長 約1,200m
 - 道路幅 12.00m
 - 歩道幅 2.50m
- 全体事業費：約5億円
- 事業期間：令和4年度～令和14年度（10年間）
- 現在の交通量：16,836台/日（自動車）
 - ： 78人/日（歩行者）
 - ： 18台/日（自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を
整備します



・車道の幅もせまく、見通しが悪い上にスピードを出す車が多いため、大変危険です。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
交通事故件数	3.2件/年（H26～H30平均）	0件

実施前

◆歩道が狭く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故の恐れがあります。



実施後

◆車道と歩道が分離されることで、通学する児童の安全な通行空間を確保します。



事業の進捗状況（R5年3月現在）

今、何をしているか

令和5年度は用地測量を行います。



事業のすすみ具合

事業開始 ● ■ ● 事業完了